

工業部会長報告

1. 会議名 第1回工業部会（オープン部会）
2. 日時 2024年5月28日（火）13:30~15:00
3. 場所 当所ホール80
4. 出席者 部会員等24名
5. 懇談



【1】テーマ **「採用力を強化する効果的な情報発信や
人材が定着する環境構築のポイント」**

講師 (株)なんで・なんで 代表取締役社長 須田 紘彬 氏

【2】テーマ **「自社の採用・人材育成について」**

講師 (株)齊藤光学製作所 代表取締役社長執行役員 齊藤 大樹 氏

【1】(株)なんで・なんで

■採用・離職に関する環境変化

- ・採用動向は競争激化しており、**選ばれる会社になるため、社員一人一人のスキルアップにより、業務効率を上げる体制構築は不可欠。**
- ・離職理由の「家庭の事情」は建前で、本音は「人間関係」が多い。入社前と実際のギャップを減らすことも離職を防ぐためには必要。
- ・**最近では退職代行という新たなサービス**も出てきた。

■採用手法・求人のコツ

- ・採用広報では「求人票」「SNS」「偶然の出会い」の3つの切り口での戦略が必要となる。
- ・**学生の57%がSNSで企業情報を収集し、WEB求人検索の75%がスマホ**からであるため、スマホ等の画面サイズに応じてページを見やすく表示されるHPデザイン手法（レスポンシブデザイン）が有効。
- ・**求人票作成のポイントとして、出勤経路や働く姿を想像できるような記載**があると好印象につながる。
- ・**求職者とのコンタクト・興味喚起・理解・応募動機・入社動機の各過程で戦略的に広報や仕掛けをする必要がある。**（リクルートジャーニーの設計）

【2】(株)齊藤光学製作所 (美郷町)

■働き方の見直し

- ・従業員63名で平均年齢は40.2歳と若者も多くバランスの良い構成を実現できている。
- ・業務効率化により、**残業時間は4年間で39%減少し、土日休みの定着で年間休日数も増加した。**
- ・家族手当・通勤手当・保育手当等の各種手当を見直すなど、福利厚生の実に取組んでいる。
- ・これらの取組みが実を結び、**2018年以降の新入社員に退職者はいない。**

■選ばれる企業になるための取組

- ・インターンシップは、学校・生徒・家族それぞれのニーズを理解することが大切であり、自社単独実施のほか、**三郷町の異業種5社が連携したインターンシップを実施し2021年「学生が選ぶインターンシップアワード」に入賞**（全国523プログラムの中のトップ10）した。
- ・外向けの活動のみならず、**従業員の満足度向上には育成プログラムの実践や、対話を重視した経営理念の共有等を行い、早期離職の防止につながっている。**



インターンシップの様子



従業員育成プログラムの様子 3